

■
【開催案内】日本学術会議公開シンポジウム
「欧州一般データ保護規則（GDPR）に対する日本の学術界の対応」
■

開催趣旨：

2018年から全面適用されている欧州データ保護規則（GDPR）は、EU域内から日本を含むEU域外に個人データを移転する場合の取扱いについて厳しい規制を課すとともに、一定の場合にはEU域内のデータ主体に関するEU域外でのデータ収集や利用にも適用される（域外適用）。その違反に対しては、高額な制裁金を賦課される可能性がある。GDPRは企業のみならず、研究機関、学協会などの非営利組織にも適用されるが、非営利組織向けの解説やマニュアルはほとんど見かけない。そのため、国際的な研究活動や学術交流活動を行っている学術組織には、GDPRに対してどのように対応すればよいかについてとまどいが見られる。このような状況の中で、GDPRの内容を正しく理解し、日本の学術界としてどのように対応することが適切であるかについて、3人の専門家をパネリストに、フロアからの質疑もまじえつつ、公開シンポジウムを開催する。

- ◆主催：日本学術会議法学委員会、法学委員会「IT社会と法」分科会
- ◆日時：平成31年3月27日（水）14:00～16:30
- ◆会場：日本学術会議講堂
- ◆参加費：無料
- ◆事前申し込み不要

（ポスターはこちらから↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/274-s-1-2.pdf>)

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局 第一部担当中島 03-3403-5706

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====
日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====
発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34